

# 第107期 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日



Synthetic Material



Machine Tool Accessories



Industrial Machinery

証券コード:6317

株式会社 **北川鉄工所**  
<http://www.kiw.co.jp/>

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より、格別のご支援を賜わり、有難く厚くお礼申し上げます。

当社グループは平成29年3月31日をもって第107期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)が終了いたしましたので、当連結会計年度の事業概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和を背景に、企業収益の回復や雇用環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済は、中国を始めとするアジア新興国経済の減速、英国のEU離脱問題や米国新政権の政策に対する懸念、そして為替相場や株式市場が大きく変動する等により、依然として先行きの不透明な状況で推移しております。

当社の関連業界におきましては、IT関連等の海外向けの設備投資や農業機械が減少したものの、自動車、土木建設関連が堅調に推移しております。

このような状況の中、素形材事業関連では、前期にあった汎用エンジン部品の駆け込み特需の反動及び工作機器関連でのIT関連等の海外向け設備投資減少により、売上の減少がありました。産業機械関連の自走式立体駐車場の需要増加があり、全社の売上高は前期に比べ増加となりました。ま

た、当社グループでは、品質の向上、生産効率の向上に努め、タイ、メキシコの海外生産拠点の収益改善や生産設備増強など事業基盤の確立に向けグループを挙げて取り組んでまいりました。

当期の配当につきましては、1株当たり60円とさせていただきます。

次期の見通しにつきましては、国内の経済状況は、雇用・所得環境の改善が続く中で、経済政策等の各種政策の効果により、景気の緩やかな回復が期待されるものの、中国を

## 経営成績の概要

(単位:百万円)

	第106期	第107期	増減
<b>売上高</b>	<b>52,732</b>	<b>55,421</b>	<b>2,689</b>
セグメント内訳			
金属素形材	24,486	23,425	△1,061
工作機器	11,664	9,842	△1,822
産業機械	16,581	22,154	5,573
<b>営業利益</b>	<b>4,899</b>	<b>4,255</b>	<b>△644</b>
セグメント内訳			
金属素形材	2,199	1,720	△479
工作機器	2,657	1,826	△831
産業機械	2,568	3,416	848
全社費用	△2,526	△2,708	△182
<b>経常利益</b>	<b>3,948</b>	<b>4,312</b>	<b>364</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,633</b>	<b>2,041</b>	<b>△592</b>

注 当期経常利益の主たる増加要因は、為替差損が前期に比べて832百万円減少したことによります。

始めとするアジア新興国経済の下振れリスクや英国のEU離脱問題、米国新政権の政策による日本経済に与える影響等、依然として先行きの不透明な状況が続くと思われま

す。このような状況の中、当社グループは海外生産拠点を軌道に乗せること、及び国内工場の生産効率や品質の改善を行い生産性の向上に努め、計画利益の確保を目指してまいります。

従いまして、次期(平成30年3月期)の業績予想につきましては、売上高は52,000百万円、営業利益は4,000百万円、経常利益は4,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,600百万円を見込んでおります。

当社は、2018年3月に創業100周年を迎えます。この100年という歴史に学び、次の100年をどういった姿でスタートするのか、常に時代にあわせて挑戦を続けていくための中長期の取り組みを検討してまいります。

当社グループの直面する重点課題を「海外事業の基盤確立」、「働き方改革による生産性向上」、「開発体制の強化」、「人材開発、人材育成の推進」ととらえ、引き続き経営基盤の強化に取り組んでまいります。また、変化の激しい環境下で、様々な衝撃に耐え復元するしなやかさを持つとともに、環境変化に適応し、学習し、自らをデザインして進化し続ける組織を「学習する組織」と呼び、変

化する事業環境の中で、発展し成長を続けるためにも、自らを変える能力を備え、進化し続ける企業風土を築いてまいります。

海外事業においては、海外子会社のメキシコ、タイでは事業基盤の確立、中国では事業構造の見直し等、グローバル生産体制の構築についてグループを挙げて取り組んでまいります。また、安全、品質上において、基本的なルールを遵守、徹底することをグループ全体の取り組みとして定着させ、経営品質を高めるよう取り組んでまいります。

株主のみなさまには引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

平成29年6月



代表取締役社長 北川祐治

# トピックス

## 金属素形材事業の加工能力増強

当社は、金属素形材事業拡大のため、2008年に福山北産業団地(広島県福山市)に75,144㎡の土地を取得し、鑄造工場の建設を行い、自動車用鑄鉄部品の生産を行ってまいりました。この度、需要増加に伴う新規受注に対応するため、加工棟及び加工設備を新設し、能力の増強をいたします。

この設備増強は、本社地区における鑄鉄鑄物部品の加工能力増強および福山工場内での鑄造から加工まで一貫した生産・出荷を目的とするもので、加工能力は月4万個増加する見込みです。

本年6月に加工棟(建屋)を着工し、来年7月に一つ目の加工ライン、同10月に二つ目の加工ラインを完成させる予定で、受注状況によっては更に加工ラインを増加させることも検討してまいります。

今後は、当社の工作機器事業で培った加工ノウハウを活かした高品質の製品を提供できるよう努めるとともに、競争力の向上にグループを挙げて取り組んでまいります。

### 新設概要(加工棟及び増強設備)

投資額：21億円

建築面積(延床面積)：5,129.57㎡(5,247.84㎡)

建屋着工：2017年6月

完成時期：第1加工ライン…2018年7月      第2加工ライン…2018年10月

完成後の生産額：60億円/年(福山工場全体)



加工棟完成予想図

# セグメント別の概況

## 金属素形材事業 Synthetic Material

単位: 百万円

	第106期	第107期	対比
売上高	24,486	23,425	4.3%減▲
営業利益	2,199	1,720	21.8%減▲

世界の新車販売台数(平成28年1月～12月)は、前年比4.6%増の9,320万台となりました。その内、米国は、1,755万台(前期比0.4%増)と微増ながら過去最高を更新し、また、最大の市場となっている中国では、2,802万台(前期比13.7%増)に達し過去最高を更新しました。

当事業におきましては、中核である自動車トランスミッション部品はグローバルでの生産は堅調に推移していますが、国内生産の不透明感は続いております。国内の建設・農業機械部品は、前期にあった地域や馬力レンジによる排ガス規制強化に伴う汎用エンジン部品の駆け込み特需の反動などにより減少しております。北米では農業機械部品は市場の悪化や在庫抑制のため需要が減少、建設機械部品は建設需要により増加しております。欧州市場では景気底打ちや投資促進税

制などにより建設・農業機械部品ともに増加、アジア市場ではタイの干ばつの影響などがありました。農業機械部品は順調に伸長しております。

このような状況の中、既存顧客のグローバル展開への対応を含めたインシアアの拡大と当社の強みを活かした高付加価値製品の新規受注活動に努めてまいりました。また、生産性の向上、不良の低減、歩留り改善による生産効率の改善や調達コストの削減により、収益性の改善に努めてまいりました。メキシコ会社では、生産効率の改善が進み収益面でも順調に推移しており、また、鑄造2次ラインも本年9月頃にラインの試験運転を開始する予定です。一方、タイ子会社では、早期の業績回復に向けて鑄造2次ラインの量産稼働への対応等を進めております。



### 事業内容

生型鑄造・ロストワックス精密鑄造・エバフォーム鑄造・MIM焼結品及び鑄物素材をベースとした機械加工品および組立完成品(自動車部品、各種機械部品)

# セグメント別の概況

## 工作機器事業

### Machine Tool Accessories

一般社団法人日本工作機械工業会の発表によりますと、平成28年度(平成28年4月～平成29年3月)の工作機械受注総額は1兆2,893億円(前期比7.8%減)と2年連続での前期比減少となり、低調に推移しました。内需は5,315億円(前期比8.2%減)、外需は7,577億円(前期比7.6%減)となりました。ただし、当第4四半期の推移に限っては、受注額は内需、外需ともに前年同月比で上回り、需要復調傾向がより鮮明となっております。

当事業におきましては、平成28年度期初から売上高は国内、海外ともに前期比で大幅に下回り、利益もこれに伴い低調な結果となりました。国内では補助金などの政策効果もあり、低水準ではありますが、底堅く推移しました。海外は中国のEMS(電子機器受託生産サービス)向け受注の不調により大幅な減収となりました。

このような状況の中、新たな商品開発体

制を整備し、顧客個別商品(カスタマイズ商品)の受注から得られたニーズを基に商品開発へ取り組んでまいりました。この取り組みから生まれた新商品を昨年11月に開催された第28回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2016)へ出展、発表しております。発表した新商品の市場投入を順次開始し、受注拡大に努めてまいりました。

単位：百万円

	第106期	第107期	対比
売上高	11,664	9,842	15.6%減▲
営業利益	2,657	1,826	31.3%減▲



デザインチャック



NC円テーブル



グリッパ

#### 事業内容

旋盤用チャック、油圧回転シリンダ、NC円テーブル、パワーバイス、ワークグリッパ、グリッパ(商品名：Promano)

## 産業機械事業 Industrial Machinery

一般財団法人建設経済研究所による平成28年度建設投資見通しは、前期比2.4%増の52兆円となり、また、住宅着工戸数は前期比5.4%増の97万戸と見通しが上方修正されました。国内建設業界は、平成28年度補正予算成立を受け堅調に推移いたしました。一方、国土交通省による建設労働需給調査では、型枠工を中心に建設技術者不足の状態が続いております。

このような状況の中、コンクリートプラント及び関連設備では、沖縄県での設備が売上を伸ばしました。荷役機械関連設備では、首都圏での大型建築向け大型クレーンに加えて集合住宅向け小型クレーンの需要も増加し

ました。環境関連機器では、造粒固化処理設備、特機関連では、ウォータージェットの内納が増加しました。自走式立体駐車場では、遊興施設や商業施設併用型の大型物件が増加し、大きく売上を伸ばしました。また、業務効率改善活動に取り組み、継続した経費削減にも努めてまいりました。

単位：百万円

	第106期	第107期	対比
売上高	16,581	22,154	33.6%増 ▲
営業利益	2,568	3,416	33.0%増 ▲



▲環境プラント



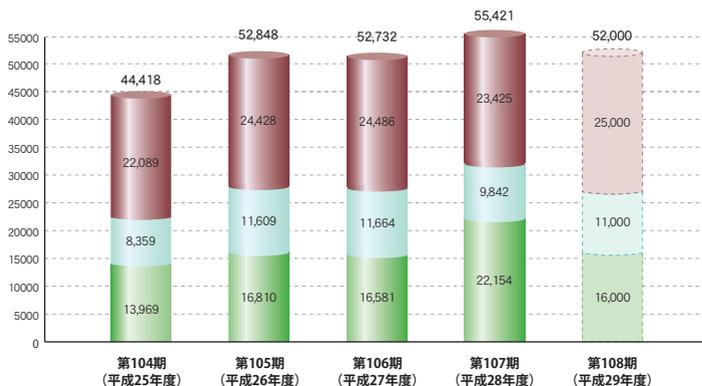
▲ビル建設用タワークレーン

### 事業内容

コンクリートプラント、コンクリートミキサ(商品名：ジクロス等)、環境関連設備(商品名：ペレガイア等)、リサイクルプラント、建築用ジブクレーン(商品名：ビルマン)、自走式立体駐車場(商品名：アスペル)、特殊工作機械

# 連結決算の概要

## 連結売上高 (百万円)



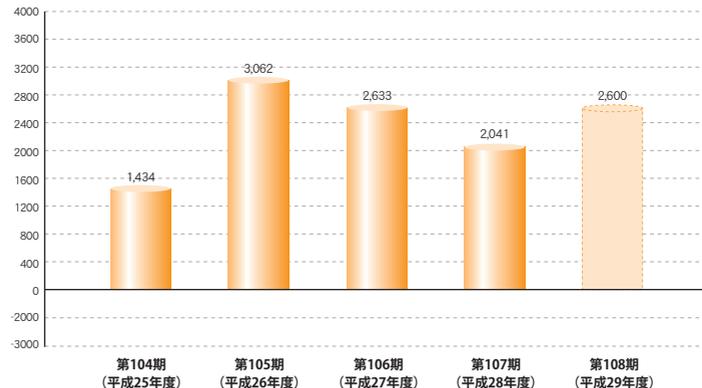
※第108期は予想値

## 連結経常利益 (百万円)



※第108期は予想値

## 連結当期純利益 (百万円)



※第108期は予想値

## 連結貸借対照表

区 分	前事業年度 (平成28年3月31日)		当事業年度 (平成29年3月31日)		区 分	前事業年度 (平成28年3月31日)		当事業年度 (平成29年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	34,095	52.1	36,398	53.4	流動負債	20,034	30.6	22,028	32.4
固定資産	31,398	47.9	31,699	46.6	固定負債	14,984	22.9	13,155	19.3
有形固定資産	26,046		25,434		負債合計	35,018	53.5	35,184	51.7
無形固定資産	453		485		(純資産の部)				
投資その他の資産	4,898		5,780		株主資本	28,370	43.3	29,677	43.6
					その他包括利益累計額	1,637	2.5	2,076	3.0
					非支配株主持分	467	0.7	1,159	1.7
					純資産合計	30,476	46.5	32,913	48.3
資産合計	65,494	100.0	68,098	100.0	負債純資産合計	65,494	100.0	68,098	100.0

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

区 分	前事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)		当事業年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	52,732	100.0	55,421	100.0
売上総利益	10,982	20.8	10,654	19.2
営業利益	4,899	9.3	4,255	7.7
経常利益	3,948	7.5	4,312	7.8
税金等調整前当期純利益	4,094	7.8	3,517	6.3
親会社株主に帰属する当期純利益	2,633	5.0	2,041	3.7

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約版)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	当連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,887	5,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,209	△3,305
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,415	△1,746
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107	286
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	154	862
現金及び現金同等物の期首残高	8,509	8,663
現金及び現金同等物の期末残高	8,663	9,526

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

# 会社の概況 (平成29年3月31日現在)

設 立	昭和16年11月28日
資 本 金	86億4千万円
従業員数	1,297名

## Network

### 海外関係会社

KITAGAWA MEXICO,S.A.DE C.V.  
KITAGAWA (THAILAND) CO.,LTD.  
北川(瀋陽)工業機械製造有限公司  
上海北川鉄社貿易有限公司  
KITAGAWA-NORTHTECH INC.  
KITAGAWA EUROPE LTD.



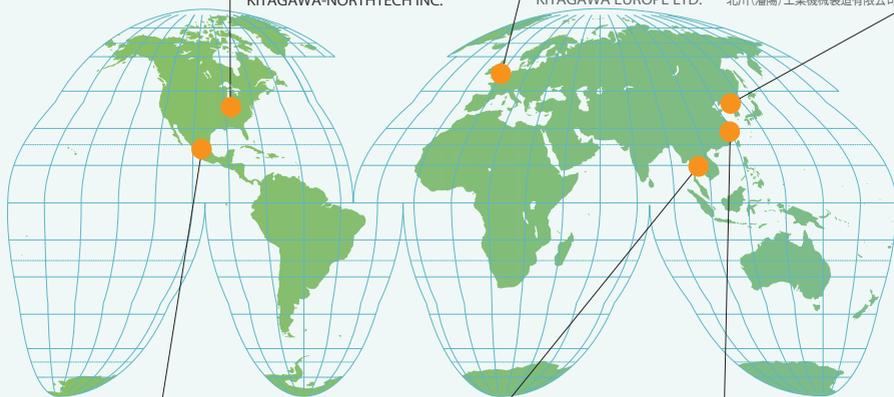
KITAGAWA-NORTHTECH INC.



KITAGAWA EUROPE LTD.



北川(瀋陽)工業機械製造有限公司



KITAGAWA MEXICO,S.A.DE C.V.



KITAGAWA (THAILAND) CO.,LTD.



上海北川鉄社貿易有限公司

# 役員

(平成29年6月23日現在)

代表取締役社長	北川 祐治	取締役(独立役員)	沼田 治
代表取締役副社長	北川 宏	取締役(独立役員)	藤井 一裕
取締役 常務執行役員	北川日出夫	常勤監査役(独立役員)	河村 光二
取締役 執行役員	佐藤 靖	監査役	武田 康裕
取締役 執行役員	畑島 敏勝	監査役	内田 雅敏
取締役 執行役員	宇田 育造		
取締役 執行役員	栗本 和昌		

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

(注) 1 取締役沼田治、藤井一裕は社外取締役であります。  
2 監査役河村光二、武田康裕、内田雅敏は社外監査役であります。

## 国内関係会社

北川冷機株式会社  
株式会社吉舎鉄工所  
株式会社北川製作所

## 工場

本社工場 福山工場  
本山工場 甲山工場  
下川辺工場 東京工場  
中須工場 和歌山工場

## 支店

仙台支店 大阪支店  
東京事業所 広島支店  
名古屋支店 九州支店  
名古屋支店

## 営業所

札幌営業所  
新潟営業所  
四国営業所  
沖縄営業所



本社・本社工場  
Head Office・Main Plant



福山工場  
Fukuyama Plant



東京工場 Tokyo Plant  
東京支店  
Tokyo Branch Office



東京事業所  
Tokyo Office



大阪支店  
Osaka Branch Office



和歌山工場  
Wakayama Plant



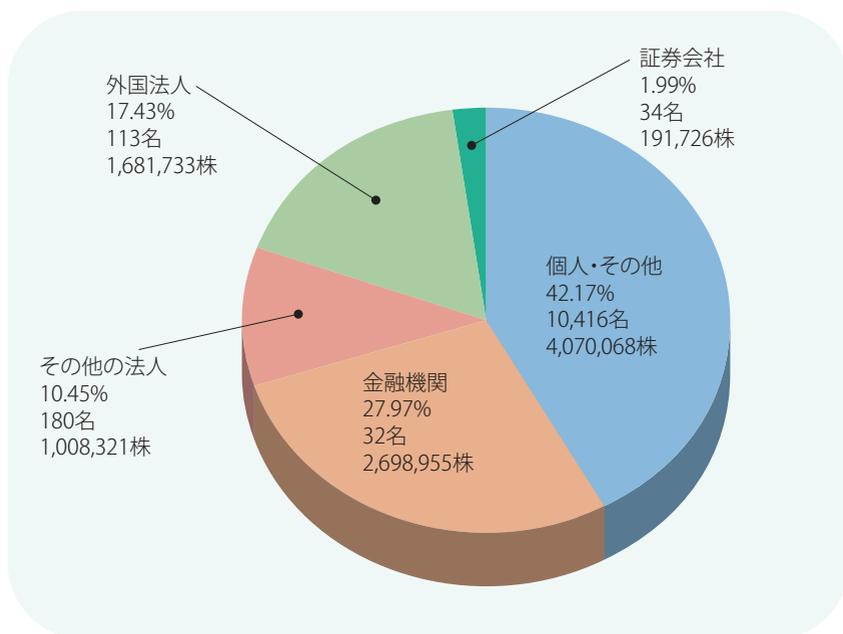
名古屋支店  
Nagoya Branch Office



# 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	30,800,000株
発行済株式の総数	普通株式	9,650,803株
株主数		10,775名

## 株式分布



大株主株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
北川鉄工所みのり会	496	5.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	465	4.90
株式会社広島銀行	446	4.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	292	3.08
みずほ信託銀行株式会社	230	2.42
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	201	2.12
北川鉄工所自社株投資会	176	1.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	176	1.86
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	175	1.85
朝日生命保険相互会社	171	1.80

\*持株比率は自己株式(155,641株)を控除して計算しております。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から毎年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当基準日	3月31日
単元株式数	100株 ※平成28年10月1日付で1,000株から100株に変更しております。
単元未満株式の 買取及び買増	単元未満株式(1株~99株まで)の買取及び買増のご請求は下記のお取扱店でお取扱いいたします。単元未満株式を証券会社の口座に振替えられた株主様はお取引の証券会社にて取扱いいたします。 ※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しており、単元未満株式(1株~999株まで)から(1株~99株まで)に変更しております。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	ホームページに電子公告しますが、やむを得ない事由によって電子公告出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。 アドレス <a href="http://www.kiw.co.jp/">http://www.kiw.co.jp/</a>

	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座(※)の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットプース(みずほ銀行内の店舗)
		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

## 非接触濡れ性評価装置「Wettio」<sup>ウェティオ</sup>開発

当社は、2014年より再生医療業界に参入し、周辺機器の調査と開発を進め、特色のある装置メーカーとして事業化の検討を行っており、本年1月に国立研究開発法人理化学研究所(埼玉県和光市)との共同研究により非接触濡れ性評価装置「Wettio」を開発いたしました。

Wettio<sup>ウェティオ</sup>は、濡れ性\*の評価を、空気噴射により非接触で行うことができる今までにない装置となっています。再生医療分野で使用されている細胞シートは、試験薬を用いる従来法ではその影響を受けるため評価後に移植利用できませんでしたが、Wettio<sup>ウェティオ</sup>による評価法では評価後の細胞シートをそのまま移植利用できる可能性が期待されています。

本年2月に東京で開催された「ASTEC2017 第12回先端表面技術展」に出展した際には、従来法では難しかった寒天のようなゲル状物質や表面に撥水処理を施したガラスなどの材料の評価も可能になることから、産業分野からも大きな反響を得ました。今後は試験販売を進めながら改良を加え、来年3月を目処に正式販売する方針です。

当社は、再生医療分野の発展のみならず、産業分野の製品向上に貢献してまいります。

\*「濡れ性」とは、固体表面と液体の付着のしやすさ(なじみやすさ)を表す指標です。



# 社会貢献活動

当社では日頃地域の方々へお世話になっている感謝の気持ちを込めて、毎年継続して社会貢献活動を行っています。

昨年度も全国の事業所・工場の社員が35チームに分かれ、地域の清掃、小学校の遊具のペンキ塗り、観光名所である庭園の美化など、様々な形で社会貢献活動を実施しました。

2018年3月に創業100周年を迎えるKITAGAWAは、地域・社会とともに歩み、今後も社会貢献活動に取り組んでまいります。



上段：地域清掃(東京都台東区)

中段：小学校の遊具のペンキ塗り(広島県福山市)

下段：観光名所である庭園の美化(広島県府中市)

金属素形材、  
工作機器、  
産業機械で、  
ものづくりを未来する。

 **itagawa**

株式会社 **北川鉄工所**  
**KITAGAWA IRON WORKS CO.,LTD.**

〒726-8610 広島県府中市元町77-1  
77-1, Motomachi, Fuchu-shi, Hiroshima, 726-8610 Japan  
Tel. (0847) 45-4560 (代) Fax. (0847) 45-0589

■営業拠点

仙台	仙台市若林区大和町4-15-13	〒984-0042	Tel. (022) 232-6732 (代)	Fax. (022) 232-6739
東京	さいたま市北区吉野町1-405-1 東京都台東区元浅草2-6-6 東京日産台東ビル8階	〒331-9634 〒111-0041	Tel. (048) 666-5650 (代) Tel. (03) 3844-7101 (代)	Fax. (048) 663-4678 Fax. (03) 3844-7134
名古屋	名古屋市中川区上高畑2-62	〒454-0873	Tel. (052) 363-0371 (代)	Fax. (052) 362-0690
大阪	大阪市住之江区北加賀屋3-2-9	〒559-0011	Tel. (06) 6685-9065 (代)	Fax. (06) 6684-2025
広島	広島市南区東雲本町2-13-21	〒734-0023	Tel. (082) 283-5133 (代)	Fax. (082) 285-8830
九州	福岡市博多区板付7-6-39	〒812-0888	Tel. (092) 501-2102 (代)	Fax. (092) 501-2103

インターネット上で、いつでも最新のキタガワ情報をご覧ください

[http:// www.kiw.co.jp /](http://www.kiw.co.jp/)